

となみ野作家シリーズ6

芝 教 純 展



令和3年 6月26日(土)～7月28日(水)

午前10時から午後6時まで
7/12(月)は施設点検のため休館します

会 場 ▶ 砺波市美術館 1階企画展示室
観覧料 ▶ 一般600円(500円)、18歳以下無料
障がい者(介助者1名を含む)無料

※()内は20名以上の団体料金、65歳以上の割引料金

主催：公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団・砺波市美術館、北日本新聞社
共催：北日本放送 後援：となみ衛星通信テレビ、エフエムとなみ、となみ芸術文化友の会

TONAMI ART MUSEUM
砺波市美術館

〒939-1383 富山県砺波市高道145-1(チューリップ公園内)
TEL:0763-32-1001 FAX:0763-32-6361
<https://tonami-art-museum.jp>

となみ野作家シリーズ6

芝 教 純 展

となみ野作家シリーズは、砺波地域（砺波市、南砺市、小矢部市）で活躍している優れた美術作家を紹介する展覧会です。第6回目となる今回は、南砺市在住の洋画家・しばきょうじゆん芝教純を紹介します。

芝は、1949年南砺市（旧福野町）に生まれ、寺の長男として育ちました。幼い頃から絵を描くことが好きだった彼は、富山大学経済学部に入學するものの、美術を捨てきれず独学で油彩を学びはじめます。大学卒業後は、会社員として6年間勤務したのち、寺を継ぎ僧職のかたわら創作活動に励みました。1982年に富山県美術展で大賞を受賞し、その翌年、美術公募団体一水会に応募し初入選を果たしました。以後、同会を中心に作品を発表し続け、2000年に同会会員となり、現在は常任委員として創作活動をしています。

芝は、日常生活の中にモチーフを見つけ、それらを画面上で再構築し静謐な世界を創り上げてきました。初期から精細な筆致による写実表現を追求し、主題は風景、静物、動物へと変遷していきます。近年では、神秘性漂う女性像と風景を組み合わせた画面構成で、よりストーリー性のある深遠な絵画空間を表現しようと試みています。

本展では、1980年代から近年の作品50余点を展示し、芝教純の創作世界を紹介します。



「Shushuと渡り廊下の窓」2013年



「夷」1984年



「飛行船の見える室内」1997年



「ポートレート2007」2007年

★関連催し

アーティストトーク (要観覧券)

日時: 7月3日(土) 午後2時～

会場: 1階企画展示室

講師: 芝教純(洋画家)

※当館では新型コロナウイルス感染拡大防止のため対策を行っております。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



●北陸自動車道・砺波I.C.から車で5分 高岡砺波スマートI.C.から7分

●JR北陸新幹線「新高岡駅」、またはあいの風とやま鉄道「高岡駅」よりJR城端線に乗り換え20分、「砺波駅」下車、徒歩20分

TONAMI ART MUSEUM 砺波市美術館

〒939-1383 富山県砺波市高道145-1(チューリップ公園内)
TEL:0763-32-1001 FAX:0763-32-6361
<https://tonami-art-museum.jp>